

へくのへ

議会だより

Vol.223

令和3年12月15日
発行



元気いっぱい年長児運動会

(写真説明20ページ)

令和3年第3回定例会(令和3年9月定例会)

もくじ ● CONTENTS

農集排・下水道決算は継続審査	2	一般質問に5人が登壇・村政を問う	14
令和2年度のお金の使い道を集中審査	4	小さな太陽・明日をひらく子どもたち《伊保内高校》	20

農集排・下水道決算は継続審査



農業集落排水事業と下水道事業の決算は継続審査としました(写真=九戸村役場)

令和3年第3回定例会は、9月6日から17日までの12日間の会期で開かれました。今定例会では、村長から17件の議案が提案され、令和2年度会計決算では、一般会計など8会計が原案のとおり認定されましたが、農業集落排水事業特別会計と下水道事業特別会計は継続審査となりました。一般質問には、5氏が登壇し、コロナワクチン、教育環境、医療体制、健康への取り組み、新学習指導要領などについて、村の考えをいただきました。

第3回定例会には、令和2年度の一般会計、特別会計、企業会計の決算認定議案10件が提出されました。これらの決算は、決算審査特別委員会を設置して慎重に審査が行われました。

一般会計決算

令和2年度一般会計の決算額は、歳入が49億2096万円、歳出は47億8531万円で、差引残額は、1億3565万円の黒字となりました。この差引残額から翌年度に繰り越す財源2908万円を除く実質収支額は1億657万円となっています。

昨年度と比較すると歳入は、村税が330万円の増となったほか、地方交付税が1億5290万円、国庫支出金が3億8534万円の増となったことなどから、総額で4億2576万円の増額となりました。

歳出では、総額で6億7591万円の増となりました。これは、総務費が7億8687万円、民生費が1億5081万円の増となったことなどが主要

因となっています。

歳出の主な内容は▽新型コロナウイルス感染症対策費に5億9053万円▽障害者福祉サービス給付事業に1億9115万円▽ふるさと振興公社施設管理運営委託料に2696万円▽道路等補修工事に7452万円などとなっています。

歳出の執行率は88.7%で、昨年度より5.6ポイントの増となっています。

特別会計決算

令和2年度の特別会計の総額は、歳入が9億6064万円、歳出は9億5409万円となり、すべての会計で黒字決算となりますが、特別会計の多くが、一般会計からの繰入金で黒字を保っている状況です。

農集排・下水道会計は継続審査と決定

農集排・下水道事業特別会計は、受益者分担金について、徴収権の消滅時効を理由として2054万円の欠損金が計上されました。議会では、この決算は引き続き審査が必要との判断となり、継続審査とすることに決定しました。

水道事業会計決算

令和2年度水道事業会計の決算額は、料金収入や預金利息などの収益的収入が1億4015万円、光熱水費や推進検査などの維持管理に係る収益的支出は1億1316万円となっています。

また、国庫補助金などの資本的収入が770万円、施設や水道管の老朽化に伴う建設改良費などの資本的支出が9898万円となっています。

財政の健全化比率

基準を下回り「健全」

地方公共団体の財政の健全化に関する法律による各比率が、村長から議会に報告されました。

本村の数値は、いずれも基準を下回っており、健全財政と評価されています。

令和2年度 会計別決算の状況

区 分		歳 入		歳 出 (B)	差引額 (A)-(B)	予算に対する執行率	
		総額(A)	左記中一般会計からの繰入額			歳 入	歳 出
一 般 会 計		49億2096万円		47億8531万円	1億3565万円	91.21%	88.69%
特別会計	国 民 健 康 保 険	6億5016万円	6701万円	6億4982万円	34万円	99.83%	99.78%
	後期高齢者医療	6399万円	2432万円	6380万円	19万円	99.50%	99.21%
	農業集落排水事業	3437万円	2561万円	3277万円	160万円	100.01%	95.37%
	下 水 道 事 業	1億2595万円	9068万円	1億2443万円	152万円	100.60%	99.39%
	索 道 事 業	4012万円	1149万円	4010万円	2万円	100.00%	99.97%
	戸 田 財 産 区	3437万円	0万円	3402万円	35万円	99.97%	98.96%
	伊 保 内 財 産 区	563万円	0万円	383万円	180万円	100.20%	68.13%
	江 刺 家 財 産 区	607万円	0万円	532万円	75万円	100.00%	87.51%
合 計		58億8162万円	2億1911万円	57億3940万円	1億4222万円		

村債残高は55億106万円

村債の残高(村の借金)は、一般会計と特別会計を合わせて55億106万円円となりました。これは、令和元年度末の残高56億6318万円を比較して、1億6212万円(2.8%)の減となっています。

村債の内訳は、一般会計が44億3309万円、令和元年度末の残高45億1042万円と比較して、7733万円(1.8%)の減となっています。

特別会計は、総額で10億6796万円となっており、令和元年度末の残高11億5275万円と比較して、8479万円(5.9%)の減となっています。

村債を村民一人当たり換算すると、令和3年3月末現在で約99万4000円となり、昨年度と比較して一人当たり約8000円の減となりました。一方で、村の貯金にあたる基金残高は、51億7428万円となっており、令和元年度末の残高51億6505万円から923万円(0.12%)の増となりました。

○水道事業会計の決算状況○

1 収益的収入・支出〔経営成績〕			
○収入	1億4015万円	○支出	1億1316万円
2 資本的収入・支出〔施設整備費など〕			
○収入	770万円	○支出	9898万円

※資本的収入・支出で、収入が不足する9128万円は、過年度分損益勘定留保資金、当年度分損益勘定留保資金、消費税及び地方消費税資本的収支調整額で補てんしています。

財政健全化判断比率の状況

区分	2年度	元年度	早期健全化基準値	説 明
実 質 赤 字 比 率	赤字なし	赤字なし	15.0	一般会計の赤字の大きさを標準的な財政規模に対する割合で示したものの。
連結実質赤字比率	赤字なし	赤字なし	20.0	全会計の赤字の大きさを標準的な財政規模に対する割合で示したものの。
実質公債費比率	6.9	6.2	25.0	借入金の返済額等の大きさを標準的な財政規模に対する割合で示したものの。
将 来 負 担 比 率	0.0	0.0	350.0	将来負担すべき負債の大きさを標準的な財政規模に対する割合で示したものの。

令和2年度の村のお金はどう使われたか？ 会計決算を集中審査

令和2年度各会計決算の審査は、議長を除く議員全員で構成する決算審査特別委員会（中村國夫委員長）を設置して行われました。行政施策の成果はどうであったのか、慎重に審査されました。審査の結果、農業集落排水事業特別会計、下水道事業特別会計を除いた8件は認定すべきものと決定し、本会議に報告されました。ここでは、その質疑の中から主なものをお知らせします。



お金の使い道を慎重に審査しました(写真=決算審査特別委員会)

【歳入】

問 一般会計歳入の財産収入で収入未済額が計上されているが、債権の保全はなされているのか。

答 これについては、未納者の経済状況等をしつかり確認して事務を進めていきたい。そのほかの事案についても弁護士に相談をしている。

【総務費】

問 職員の時間外勤務手当が毎年700万円計上されている。働き方改革なり、職員の新採用等で残業が減るものと思っていたが、現在の状況はどうか。

答 コロナ対応や行政事務のデジタル化、再生可能エネルギーなどの新しい事務が増えており、このような状態からあまり残業が減っていないものと理解している。

問 高齢化による運転免許を返納しなければならぬ人の交通手段の確保を考える必要があるのではないか。

答 どのようにしたら、村の公共交通を守っていけるか、住民も利用しやすく、バス会社も良くなるし、村の財政的に良くなる。

【民生費】

問 村内の単位老人クラブが前年度から2団体、減少となった。高齢者が増加している中で、高齢者の引きこもり、運動不足など、老人クラブの有り無しが高齢者にとっては、行動力に影響があると感じる。ぜひ、団体を存続させながら、地域で活動ができる意義を宣伝しながら、高齢者の取り組みに配慮してほしい。

答 自分で広範囲に行動できる人はいいが、誰かと地域で一緒に活動するしかない高齢者も多数おられるわけで、その役割



公共交通として欠かせない県北バス

る。できればそういう方向で検討していきたい。

が地域の老人クラブの役割だと思う。行政としても活発な活動ができるようにその可能性を探っていきたい。



グランドゴルフを楽しむ老人クラブのみなさん

【衛生費】

問 人間ドックの助成金は現在、2年に一度の助成となっているが、毎年の補助にしても良いのではないか。

答 現時点では、具体的に毎年という案はもっていない。人間ドック以外の特定健診の受診率とも検討しながら、どのような形が村民の健康維持に効果的か、検討していく。

【農林水産業費】

問 村にも二ホンジカ、イノ

シシなど、有害獣が出没するようにになった。有害駆除に対する対策はどうか。

答 現在、猟友会員を村の有害鳥獣駆除実施隊員にお願いし、取り組んでいる。隊員からも要望等を聞きながら検討していきたい。

【土木費】

問 長興寺地区の国道340号の改修はどのように進むのか。

答 岩手県で事業を実施することで、今年度から歩道の整備に係る測量を進めるとのことだ。地元の要望は、県に伝えていきたい。

【消防費】

問 防災行政無線の戸別受信機を希望する家庭に配置する件はどうなっているか。

答 受信機の購入手続きも終了した。できるだけ早く希望者への貸し出しを進めたい。

問 消防署九戸分署の新築工事が進められているが、現在の状況はどうか。

答 月に2回、工事関係者等の打合せ会議があり、村でも参加している。工事は、予定どおりに進んでいる状況だ。

【教育費】

問 長興寺地区などの児童の通学バスの運行を早急に行うべきだ。

答 長興寺地区、あるいは江刺家地区について、どういう形が望ましいか、現在検討している。

問 小学校の教育環境整備に関して懇談会等が開催されているが、その結果の公表は考えていないか。

答 教育委員会として各団体等の意見を伺い、何らかの形でまとめて報告しなければならぬと考えている。

【国保特別会計】

問 国保特別会計は、一般会計からの法定外繰り入れをしている状況だ。国保税の税率の見直しの考えはどうか。また、町村の中で九戸村の税額の水準はどのような位置付けになっているのか。

答 村では、国保税の税率は、これまで据え置いている。一般会計からの繰り入れでなく、とか、収支を合わせている状況だ。国保の運営については、国保税で賄うのが当然ではある



新しい九戸分署の工事が進められている

が、村民の担税力等の関係もあり、議会とも相談しながら、今後、検討していく。

また、村の一人当たりの国保税の調定額は、県内33市町村のうち、低い方から4番目となっている。さらに一人当たりの医療費は、33市町村で一番低い位置にある。

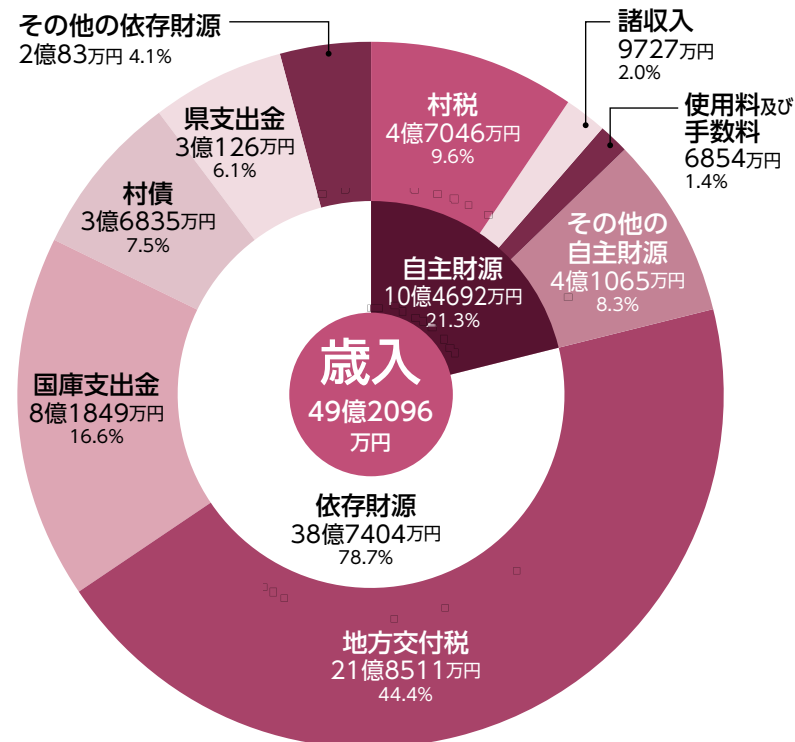
【索道事業特別会計】

問 村営くのへスキー場の位置付けはどうか。

答 スキー場は、冬期間での村民の健康増進を図る体育施設、あわせて村民だけでなく、村外から大勢の方が来ている、だくという村の重要な観光施設としての役割もある。今後とも、集客に努めていく。

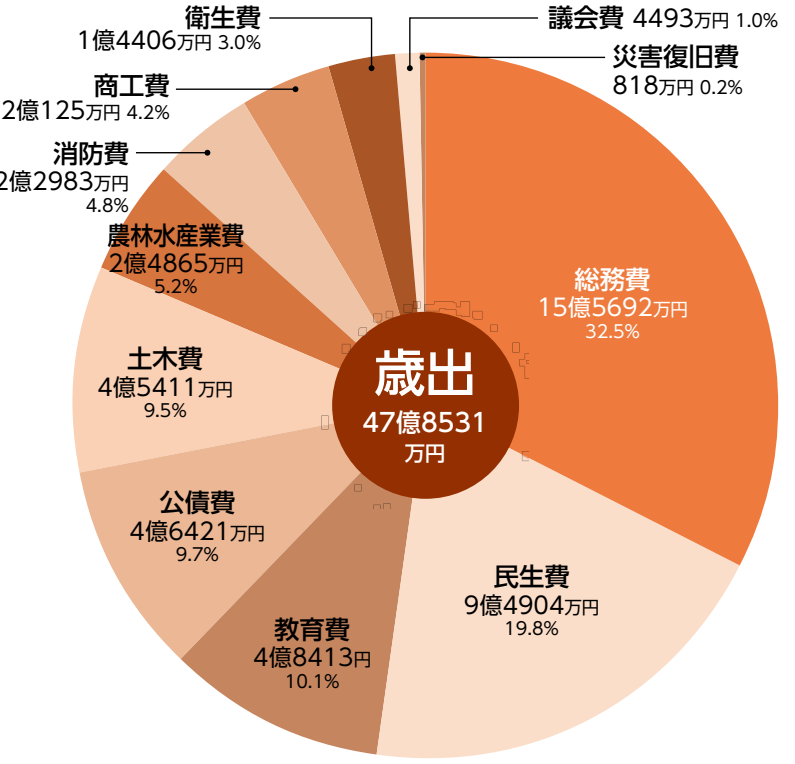
令和2年度一般会計決算を分析

歳入 依存財源は前年度比2.1%増加し78.7%
歳出 村民1人当たり、約80万976円を支出



項 目	摘 要
自主財源 村が自力で確保したお金	村 税 村民税や固定資産税など、村民の皆さんからの税金
諸 収 入	村税等の延滞金や預金利子など
使 用 料 及 び 手 数 料	村営住宅など、公共施設の利用者が負担するお金
そ の 他 の 自 主 財 源	分担金や負担金など他の収入科目に含まれないお金
依存財源 (国庫などから交付されたお金)	地方交付税 村の財政需要の状況により国から配分されたお金
村 債	事業を行うために国や金融機関などから借りたお金
国庫支出金	事業を行うために国から交付されたお金
県 支 出 金	事業を行うために県から交付されたお金
そ の 他 の 依 存 財 源	地方消費税交付金、地方譲与税、自動車取得税交付金など

項 目	摘 要
総 務 費	村の財産管理や村税の事務・コロナ対策などに充てた経費
民 生 費	高齢者や障がい者、保育園の運営など社会保障に充てた経費
教 育 費	小・中学校の運営や社会教育・体育事業などに充てた経費
公 債 費	事業のために国などから借りたお金の元利償還金
土 木 費	道路・河川などの建設や維持管理に充てた経費
農 林 水 産 業 費	農林畜産業の振興などに充てた経費
消 防 費	防災や災害時の活動などに充てた経費
商 工 費	商工業の振興などに充てた経費
衛 生 費	保健・衛生・環境などの業務に充てた経費
議 会 費	議会の運営に充てた経費
災 害 復 旧 費	災害の復旧に充てた経費



村政事務のあり方を検証し、村民の信頼回復に向けての取り組みが求められる(写真=九戸村浄化センター)

農集排会計・下水道会計に対する主な質疑

問 受益者分担金は、下水道・農集排の区域にいる方と区域以外の方では、サービスの観点からかなりの不公平感がある。このことから下水道区域の受益者からは納付が必要な分担金だ。

不納欠損をしたことによる不公平感について、村民への説明が必要だ。

答 徴収権の消滅時効によって徴収できなくなったことについて、既に分担金を納めていた人からすると、不公平と感じるのは当然であり、このことに対しては、それぞれの年度の担当者とともにお詫びしなければならぬ。

問 今後、下水道に接続をする場合の分担金の取り扱いはどうなるのか。また、納付済みの分担金で還付しなければならぬものがあるとするれば、その扱いはどうなるか。

答 今回の欠損処理によつて、今後、受益者は分担金を納めなくても下水道に繋ぐことができることになる。また、納付済みの分担金に還付があるかどうかは、現在、精査しており早期に

問 時効中断手続きを積極的に行えなかったと、新聞報道があった。

な ぜ、努力できなかったのか、そこに何の原因があるのか、そこを明らかにしないと村民にも説明できないのではないか。

答 債権保全がされてこなかったことが一番の原因だったと思う。そこは真摯に受け止め、今後は時効による徴収権の消滅がないように努め、全課を挙げて徴収していきたいと考えている。

問 この事態を迎えた原因は何なのか、そこをはっきりさせることが一つ。それから責任をどうとるのか、再発防止がないと、村民が納得できないのではないか。

答 何故、債権の保全がされてこなかったかということになると、当時は下水道に繋ぐ際に分担金を納めてもらう対応の仕方をしてきたことから、債権の保全に関して積極的に行ってこなかったということになる。

問 今後の防止策として、債権保全に關しての年間スケジュールを作成し、担当者及び課長においてもその進捗管理を行うこと。また、職員の能力開発に努めること。トラブルが発生した際には、ケース会議を開催して問題解決に向けて課内全体で改善するスタイルを構築していきたい。

問 債権保全がされていないことを知ったのはいつか。

答 平成19年度の人事異動で担当になった職員から時効消滅した債権の不納欠損をする必要があることを把握して業務にあたってきたことになる。

問 今回の不納欠損については、不公平感が村民から出ている。それらについて、どのように説明していくのか。

答 この案件は、過去十数年にわたつて行われてきた行政処理の是非と令和2年度に不納欠損処理という行政決定をしたことを分けて考える必要がある。今回の欠損処理を行わなければ後世の当局に負担、責任を押し付けることになることから、今回の決裁をする決断に至つたところだ。

第3回定例会 こんなことが決まりました

議決事件

▽過疎地域持続的発展計画の策定

過疎地域の持続的発展の支援に関する法律の制定に伴い、新たに過疎地域発展計画の策定を決定しました。

▽財産の取得に関する議決

①学校の教職員が使用する校務用パソコンの取得を決定しました。

○品名 校務用パソコン

○数量 85台

○取得価格

4462万7000円

○取得先 株式会社システムベース



②利用希望があつた世帯に貸与するための防災行政無線戸別

受信機の取得を決定しました。
○品名 防災行政無線戸別受信機

○数量 250台

○取得価格

1435万5000円

○取得先 北日本通信株式会社



貸与する防災行政無線戸別受信機

▽令和2年度九戸村水道事業会計未処分利益剰余金の処分
に關し議決を求めることについて

令和2年度会計決算における未処分利益剰余金8002万8326円のうち、資本金に3745万7225円を組み入れ、減債積立金に2000万円、建設改良積立金に257万1101円を積み立てて、残余金2000万円を繰り越すことを決定しました。

補正予算

▽令和3年度一般会計補正予算(第3号)

予算総額に9349万6000円を追加し、55億9174万1000円としました。内容は、新型コロナウイルス対策としてのクーポン券発行や、小・中学校などへの非接触型体温測定機の購入などです。

▽令和3年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

予算総額に12万円を追加し、6億1403万7000円としました。内容は、葬祭費を増額しました。

▽令和3年度索道事業特別会計補正予算(第1号)

予算総額に99万8000円を追加し、1722万6000円としました。内容は、受水槽の修繕に要する経費を増額しました。

決算認定

▽令和2年度一般会計、特別会計6会計、水道事業会計の歳入歳出決算を認定しました。

た。農業集落排水事業と下水道事業の2特別会計は継続審査となりました。(詳細は2ページから掲載しています。)

反対討論 久保えみ子議員

「制度に反対」

後期高齢者医療特別会計決算 国民を年齢で区切り、高齢者の医療費負担が増やされ続ける制度だ。

「抜本的な検討を」

索道事業特別会計決算 一般会計から多額の繰り入れを続けるやり方の、抜本的な検討を求める。

あなたの請願と陳情

みなさんから提出された請願は、第3回定例会で次のように決まりました。

採択

○安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための請願

▽請願者 岩手県医療労働組合執行委員長 中野るみ子

▽紹介議員 久保えみ子

▽要旨 次の事項について、国の関係機関に意見書を提

出するよう求めるもの。

①今後も発生が予想される新たな感染症拡大などの事態にも対応できるよう、医療・介護・福祉に十分な財源確保を行うこと。

②公立・公的病院の統合再編や地域医療構想を見直し、地域の声を踏まえた医療体制の充実を図ること。

③安全・安心の医療・介護提供体制を確保するため、医師・看護師・医療技術職・介護職等を大幅に増員すること。

④保健所の増設・保健師等の増員など、公衆衛生行政の拡充を図ること。ウイルス研究、検査・検疫体制などを強化・拡充すること。

⑤社会保障に関わる国民負担軽減を図ること。

○教職員定数改善と義務教育費国庫負担率の引き上げを図るための、2022年度政府予算に係る意見書の提出を求める請願

▽請願者 岩手県教職員組合 合県北支部 支部長 小関高博

▽紹介議員 保大木信子

▽要旨 次の事項につい

常勤医師確保のため要望を実施

9月22日に、櫻庭豊太郎村議会議員長、桂川俊明村議会副議長、川戸茂男産業民生常任委員長が、県議会議員長、県知事、県医療局長に対し、九戸地域診療センターの常勤医師の早急な確保を要望してきました。

要望では、現状の医療体制に対する不安、介護や医療の現場での業務への支障などを訴え、速やかな対応を求めました。

※10月4日には武田力男医師が、常勤医師(副センター長)として九戸地域診療センターに着任されました。



達増岩手県知事へ要望



関根岩手県議会議員長へ要望



小原岩手県医療局長へ要望

▼契約の締結に関する議決

議決事件

▼個人情報保護条例の改正
法律改正に伴い、手続きの
変更などの改正を行いました。

条例



中村富美子さん

▼教育委員会の委員の任命に
関する同意
教育委員会の委員に、中村
富美子さん（伊保内上）を任命
することに同意しました。
任期は、令和3年8月12日
から4年間です。

人事

令和3年第2回臨時会が8月6日に開かれました。
村長から提出された議案4件を慎重に審議した結果、原案
のとおり可決されました。

第2回臨時会



自伐型林業に取り組む
地域おこし協力隊の立花さん

▼令和3年度一般会計補正予
算（第2号）

補正予算

▼自伐型林業を推進するため
の研修開催委託料

▼木質バイオマス発電に係る
調査等の委託料

増額の内容は、次のとおり
です。

予算総額に1549万円を
追加し、54億9824万5000
円としました。



地域おこし協力隊の上野さん

令和3年第2回臨時会 議員ごとの賛否の状況

議案等 番 号		議 案 名 等		古 鋤 巖	川 戸 茂 男	坂 本 豊 彦	大 崎 優 一	中 村 國 夫	久 保 え み 子	保 大 木 信 子	岩 渕 智 幸	渡 保 男	山 下 勝	桂 川 俊 明	櫻 庭 豊 太 郎	採決の結果
議 案	第1号	人事	教育委員会の委員の任命	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	×	-	同意
	第2号	条例	個人情報保護条例の改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可 決
	第3号	議決事件	契約の締結(小・中学校エアコン設置工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
	第4号	補正予算	令和3年度一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	

表の見方 「○」は賛成、「×」は反対、「-」は採決に加わらなかった。

※櫻庭豊太郎議長は、賛否が同数などの場合にのみ、採決に加わります。これ以外は、採決に加わりません。

令和3年第3回定例会 議員ごとの賛否の状況

議案等 番 号			議 案 名 等		古 舘 巖	川 戸 茂 男	坂 本 豊 彦	大 崎 優 一	中 村 國 夫	久 保 え み 子	保 大 木 信 子	岩 渕 智 幸	渡 保 男	山 下 勝	桂 川 俊 明	櫻 庭 豊 太 郎	採決の結果		
議 案	第1号	議決 事件	過疎地域持続的発展計画の策定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可 決	
	第2号		財産の取得(校務用パソコン)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-		
	第3号	補正 予算	令和3年度一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-		認 定
	第4号		令和3年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-		
	第5号		令和3年度索道事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	継 続 審 査	
	第6号	決算 認定	令和2年度一般会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-		
	第7号		令和2年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-		
	第8号		令和2年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	-		
	第9号		令和2年度農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-		
	第10号		令和2年度下水道事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-		
	第11号		令和2年度索道事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認 定
	第12号	令和2年度戸田財産区特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-		
	第13号	令和2年度伊保内財産区特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-		
	第14号	令和2年度江刺家財産区特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-		
	第15号	令和2年度水道事業会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可 決
	第16号	議決 事件	令和2年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
	第17号		財産の取得(防災行政無線戸別受信機)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
請 願	令和3年第1号		安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	採 択	
	令和3年第2号		教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度負担率引き上げをはかるための、2022年度政府予算に係る意見書の提出を求める請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		-
発 議	第1号		議会会議規則の改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可 決
	第2号		コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
	第3号		安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
	第4号		教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
	第5号		県立二戸病院附属九戸地域診療センターの診療体制の充実を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	

表の見方 「○」は賛成、「×」は反対、「-」は採決に加わらなかった。

※櫻庭豊太郎議長は、賛否が同数などの場合にのみ、採決に加わります。これ以外は、採決に加わりません。

第3回臨時会

令和3年第3回臨時会が9月30日に開かれました。
村長から提出された議案4件を慎重に審議した結果、原案のとおり可決されました。

人 事

▼教育委員会の委員の任命に関する同意

①教育委員会の委員に、番澤廣円さん(戸田下)を任命することに同意しました。

任期は、令和3年10月1日から令和7年3月31日までです。



番澤廣円さん

②教育委員会の委員に、上山昭一さん(山屋)を任命することに同意しました。

任期は、令和3年10月14日から4年間です。



上山昭一さん

議 決 事 件

▼契約の締結に関する議決
オドデ館増改修工事の請負

契約の締結を決定しました。

○工事名 オドデ館増改修工事

○工事場所

九戸村大字山屋地内

○契約金額 2億5080万円

○請負者 株式会社中館建設

補 正 予 算

▼令和3年度一般会計補正予算(第4号)

予算総額に300万6000円を追加し、55億9474万7000円となりました。

増額の内容は、保育園の主食提供に係る炊飯器・食器材料代などの購入費用などです。



増改修工事が行われるオドデ館

令和3年第3回臨時会 議員ごとの賛否の状況

議案等 番 号	議 案 名 等	古 舘 巖	川 戸 茂 男	坂 本 豊 彦	大 崎 優 一	中 村 國 夫	久 保 え み 子	保 大 木 信 子	岩 淵 智 幸	渡 保 男	山 下 勝	桂 川 俊 明	櫻 庭 豊 太 郎	採決の結果
議 案	第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	同 意
	第2号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
	第3号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可 決
	第4号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	

表の見方 「○」は賛成、「×」は反対、「-」は採決に加わらなかった。

※櫻庭豊太郎議長は、賛否が同数などの場合にのみ、採決に加わりません。

議員は何をしているの？

議員や議会は何をしているの？という声を聞きます。
ここでは、議会や議員の主な活動状況をお知らせします。



7月

- 6日 九戸村観光協会理事会
- 13日 岩手県町村議会議長会理事会、政務調査会
- 19日 議員全員協議会
- 20日 北部地区議長会議員研修会
- 27日 村政調査会
- 28日 カシオペア連邦議会議員協議会総会・研修会

8月

- 2日 県政に対する市町村要望
- 4日 北部地区議長会県政要望
- 5日 平庭地域議員協議会役員会
- 6日 議会運営委員会
- 令和3年第2回村議会臨時会
- 11日 岩手県町村議会議長会夏季議員大学講座
- 25日 議会広報常任委員会
- 30日 議会運営委員会
- 31日 二戸地区広域行政事務組合議会臨時会
村政調査会



8月2日に行われた県政に対する市町村要望

9月

- 3日 九戸福祉会理事会
- 6日 令和3年第3回村議会定例会 本会議(議案説明)
議員全員協議会、村政調査会、各常任委員会
- 9日 令和3年第3回村議会定例会 本会議(一般質問)
- 10日 令和3年第3回村議会定例会 本会議(議案審議)
決算審査特別委員会(16日まで)
- 17日 令和3年第3回村議会定例会 本会議(議案審議)
- 22日 九戸地域診療センター医師確保に関する要望活動
- 28日 村政調査会、議員全員協議会、議会運営委員会
- 30日 議会運営委員会
令和3年第3回村議会臨時会



9月22日に行われた九戸地域診療センター
医師確保に関する要望

議長交際費を公表します

月	お祝い・会費	
	件数	金額
7月	7月から9月までの議長交際費の支出はありませんでした。	
8月		
9月		

議長交際費とは、議長が議会の対外的活動をするための経費です。各種団体の総会や式典の会費などが主なものです。

お詫びと訂正
くのへ議会だより2222号の10ページに掲載した写真は、「山根小学校運動会」ではなく、「長興寺小学校運動会」でした。お詫びして訂正いたします。申し訳ございませんでした。



桂川俊明 議員

コロナワクチンの接種状況は

村長▶ 高齢者への集団接種をほぼ終えた

村長 ナインズファームでは、ハウス内の温度状態に合わせて、

村長 本村にあった農業と技術の向上、中山間地域に合ったスマート農業の導入等、ナインズファームが農家の手本となり、普及していくことが必要ではないか。

農業振興に向けた取り組みは



ワクチン接種のシミュレーション

村長 高齢者対象の集団接種は、ほぼ終え、8月からは、村外の民間医療機関での個別接種に切り替わって

村長 新型コロナワクチン接種はどのように進んでいるのか。
また、村民の何割が接種を終えたのか。

村長 本村の接種率は、9月7日時点で、1回目接種済みが57・4%、2回目接種済みが48・8%となっている。

村長 国や県の事業のほか、村の支援は重要であり、バックアップしていく必要があると考えている。

村長 国や県の事業のほか、村の支援は重要であり、バックアップしていく必要があると考えている。

村長 国や県の事業のほか、村の支援は重要であり、バックアップしていく必要があると考えている。

村長 国や県の事業のほか、村の支援は重要であり、バックアップしていく必要があると考えている。

保護者の声をどう受け止めるのか

村長 国や県の事業のほか、村の支援は重要であり、バックアップしていく必要があると考えている。

村長 国や県の事業のほか、村の支援は重要であり、バックアップしていく必要があると考えている。

村長 国や県の事業のほか、村の支援は重要であり、バックアップしていく必要があると考えている。

村長 国や県の事業のほか、村の支援は重要であり、バックアップしていく必要があると考えている。



次ページからは

～村政を問う～ 一般質問に5人が登壇

9月定例会での一般質問は9月9日に行われ、5人の議員が一般質問に登壇し、活発な議論が展開されました。
掲載している内容は、紙面の都合で要約しています。
全文記録(議事録)は、村ホームページでご覧いただけます。

質問議員(質問順)	質問事項	掲載ページ
桂川 俊明 議員	○新型コロナウイルスワクチン接種状況について ○農業振興について ○教育振興について	15
中村 國夫 議員	○教育環境の整備について ○本村の男女共同参画について ○全国学力テストについて ○ドローンの利活用について	16
保大木信子 議員	○医療体制について ○保育環境について	17
久保 えみ子 議員	○コロナ禍において、命を守ることを最優先にした対応について ○村民の健康を守る取り組みについて	18
山下 勝 議員	○新学習指導要領の実施に伴う本村の取り組みについて ○協働のまちづくりについて ○農業振興について	19

一般質問とは、議員が村の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針などについて所信を聞き、報告や説明を求め疑問点をたずねることです。
九戸村では、一人60分以内の制限時間で質問を行います。

※一般質問はアクリルパーテーションを設置したうえで、マスクをはずして行っています。



中村國夫 議員

教育環境整備の意向の把握を

教育長▶ 正確な意向の把握に努める

問 早期の対応が求められている教育環境の整備について、村民を対象としたアンケート調査を実施し、把握に努めるべきではないか。

【教育長】 アンケート実施に当たっては、今後の児童生徒数の推移や、少子化が学校現場や児童生徒に与える具体的な影響、そこで育まれる児童生徒の資質・能力などの違いについて、村民に理解してもらうことが重要だ。村民各層が対象の懇談会や

男女共同参画の取り組み状況は

問 男女共同参画への取り組みは、どのような状況なのか。また、今後どのように進めていくのか。

【村長】 「九戸村男女共同参画プラン」に基づき、項目を定め取り組んでいる。取り組み内容の見直しが必要なものを点検し、目標達成に向けて、施策を実行していきたい。

問 村の各種委員会における女性の割合は。

【村長】 23の各種委員会の委員総数259人のうち、女性委員は42人で、全体に占める女性委員の割合は16.2%となっている。

問 村職員の係長・課長補佐相当職における女性の割合は。

【村長】 係長・課長補佐相当職の女性の割合は、職員数73人のうち、女性21人、28.8%である。職員研修等によ



3人で授業を受ける戸田小2年生

り人材育成に努め、適任であれば性別にかかわらず管理

全国学力テストの結果と課題は

問 2年ぶりに実施された全国学力テストの結果について、どう受け止めているのか。また、今後の課題はなにか。

【教育長】 国語の記述式問題は、県や全国の平均を上回っており、強化している取り組みの成果が表れた。一方で中学校では、「伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書く力」については、全国や県を大きく下回っている。小学校から多くの友達とかかわり、同じことを経験しても抱く感情や感じ方など、さまざまな側面があるということを学ぶ機会を充実させていく必要がある。

算数・数学は、県全体が全国平均を下回り、中でも本村は県平均を下回っている。算数・数学が最重要課題と問題意識を持っている。

問 今年度行なわれた全国学力テストは、コロナ禍で、かつ新学習指導要領導入後

に初めて行われたが、子どもたちへの影響をどのように把握しているのか。

【教育長】 本村では、かなり早い段階から新学習指導要領に則った授業が行われている。また、コロナ禍での休校措置を行った学校はなく、全国学力テストへの影響は、あまりないと捉えている。

ドローンの活用は

問 物流や災害救助など、利活用が考えられるドローンについて、どう考えているのか。

【村長】 災害現場などの危険な場所における被災者の探索、救援物資の運搬などへの活用が考えられる。民間事業者の状況など情報収集を行い、利活用効果等について検証していきたい。

働く親に寄り添う保育環境を

問 村では、学校給食を無料化していることから、保育園でも、3歳以上の園児の主食を提供しても良いのではないか。

【村長】 現在の保育園での3歳児以上の給食は、副食のみで、主食となるご飯を持ってきたりしているが、保育ニーズの変化に合わせ、主食の提供を実施する方向で担当課に指示している。できるだけ早期に実施したいと考えている。

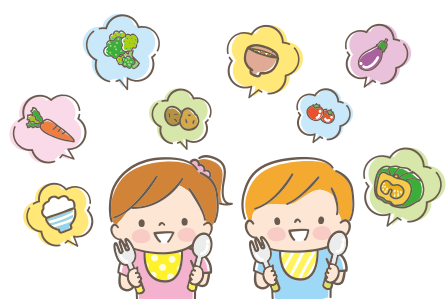
問 働く親に寄り添うという観点からも、土曜日保育の食事提供を実施する考えはないか。

【村長】 土曜日保育は希望保育となるため、食事提供する場合、調理員など人員体制の調整、食材調達、フードロスなどを考えると、非常に課題が多い。

土曜日保育の食事提供については、勤務形態等の変化

に伴い、保育ニーズも変わり、その需要も変化すると考えている。少子化対策を本気で進めるのであれば、保護者が土曜日に働かなくてもいい仕組みを国レベルで構築していくことを望む。それが根本的な少子化対策になるのではないかと思う。

ニーズの変化を捉えて食事提供を実施する場合は、どういう方法が良いのか、民間の力を借りるのか、保護者会で言うのか、いろいろな選択肢があると思う。情報収集と検討を重ねるために、時間をいただきたい。



常勤医師確保はどうなっている

村長▶ 県医療局からは前向きな回答



保大木信子 議員



一時的に常勤医師が不在となった九戸地域診療センター（現在は解消されています）

問 九戸地域診療センターの常勤医師は8月20日をもって不在となっている。最重要課題である医師確保をどのように進めているのか。

【村長】 本院である三戸病院からは医師不足の折、代わりの常勤医の配置は即応できないとの意向が示された。

これを受け、県副知事との会合で医療体制の窮状を伝えた。さらには県医療局長に九戸地域診療センターの常勤医師不在に関しての対

応を要望し、前向きな回答をいただいている。

問 病床の確保、常勤医師による診療体制の維持、歯科医師の確保など、今後の村の医療体制をどう考えているのか。

【村長】 九戸地域診療センターの病床の復活要望は当然継続するが、常勤医師の確保に力を入れて、これまで以上に県に対する要請を強めていきたい。

村唯一の歯科医院がなくなることは影響が非常に大きく、当面は二戸歯科医師会に応援を求めている。関係する情報収集に努めながら確保に向けて取り組んでいく。



久保えみ子 議員

新型コロナ医療 村の対応は

村長▶医療体制の整備充実を要望していく

問 新型コロナウイルス感染症が全国で感染爆発という事態になり、医療機関で診療を受けられずに、自宅療養を余儀なくされ、自宅で亡くなる事例が報道されている。

村民にあっても、コロナウイルスへの感染はいつ発生してもおかしくない状況であり、安心してコロナ感染の医療を受けられるようにすることが求められている。村の対応について伺う。

村長 岩手県においては、患者の適切な健康観察や家庭内での感染防止の観点から、新型コロナの感染者は、原則として入院又は宿



村長 PCR検査は、厚生労働省の通達において「医師が必要と判断した場合に都道府県等が指定する医療機関で実施する。」とされている。

岩手県においては、連日検査が実施され、結果が公表されており、県レベルでの検査受け入れ体制は、整っていると判断している。

泊療養とする方針が示されている。

村としては、コロナ対策を含め、医療体制の整備・充実が最優先に取り組まれるよう、あらゆる機会をとらえて、県等に対して要望していきたい。

問 感染拡大させないために、PCR検査を受けやすくすることが必要だと思うが、そのような体制になっているのか。

村民の健康を守る取り組みを

問 九戸地域診療センターの診療科は、内科と外科が中心で、それ以外の治療は村外の医療機関を受診しなければならない。

75歳以上の高齢者を対象として、村内のバス代の無料化は実現されているが、村外の医療機関を受診する際の交通費も補助が必要ではないか。



村民の健康を守る介護予防教室

問 村唯一の歯科医院がなくなった。村民の健康を守るためにどのように取り組んでいくのか。

村長 歯科医師不在の問題については、村独自で歯科医師を探さなければならぬ。歯科は、生活の質にかかわるので、優先課題として取り組んでいく。

村長 岩手県後期高齢者医療広域連合による4月診療分のデータのうち、村外の医療機関を受診された件数は、率にすると58.2%となっている。そのすべてに交通費を補助すると、多額の財政支出を伴うことになる。また、村外の医療機関受診への交通費助成を増やすと、九戸地域診療センター離れにもなりかねないことから、総合的、俯瞰的に考えなければならない。この件に関しては、慎重に判断をしたい。

新学習指導要領への取り組みは

教育長▶既に地域の協力を得て取り組んでいる

問 新学習指導要領では「社会に開かれた教育課程」が重点とされている。小学校でどのように取り組んでいるのか。

また、中学校ではどのように取り組んでいるのか。

教育長 本村では、小・中学校とともに、既に総合的な学習の時間や社会見学、九曜塾、キャリア教育の実施に当たって、地域の方々の協力を得て取り組んできた。

問 特別支援が必要とされる児童生徒には、なにを重点とし、どう取り組んでいるのか。

教育長 指導の在り方や保護者の意向などの情報を共

協働のまちづくりへの考えは

問 村総合発展計画を進めるにあたり、協働のまちづくりを基本とした住民との対話が、どのように実現し、その成果があったのか。

村長 ナインズミーティングと題して懇談会を開催し、福祉や地域活動、防災など、さ



地域の協力を得てなめこづくりを体験した戸田小児童

有する会議を月に1回程度開催するなど、他市町村にひけをとらない、組織的できめ細かい対応をしている。

問 新学習指導要領に関連して、地域住民の理解と協力を得る必要があるのは何か。

教育長 「社会に開かれた教育課程」について、本村は地域住民の理解と協力を十分に得ていると認識している。

まざまな提案をいただいた。保険適用外の補聴器の購入費助成など、実行し反映させている。

問 町内会や婦人会などの団体の声が、発展計画策定にどのように反映されたのか。また、成果に繋がったのか。

農業振興の変革が必要では

問 現在の社会情勢の中で、農業振興の変革が必要と考える。農業就労者の減少や耕作放棄地対策への見解を伺う。

村長 ナインズファームを中心に新たな農業就労者の確保を図っていくほか、意欲的に農業経営を実践している生産者の規模拡大などを積極的に支援していきたい。

問 農業生産の安定化に向け、ICT活用や農業ヘルパーなどに取り組むべきではないか。

村長 農業へのICT活用は今後、必要性が増すと思

ため、繋ぎ役となる協議会を新設し成功した事例が見られる。本村も取り組むべきではないか。

村長 成功事例の多くは、住民主体である。住民主体の取り組みを、より活性化させたい。村全体の協議会の在り方についても検討していく。

問 退職年齢層の新たな就労選択として、農業を気軽に学び体験できる機会を構築するとともに、それを支援する政策が必要ではないか。

村長 定年退職年齢層も含め、さまざまな人材を対象に、農業体験や農業研修の内容の充実を図り、新規就農希望者の確保につなげていきたい。



山下 勝 議員

小さな太陽 =明日をひらく子どもたち=

キラキラ輝く瞳。大きな夢なら負けません。

このコーナーでは、そんな太陽のような目をした子どもたちに登場してもらいます。



にぎやかな村のために

伊保内高校 1年
おちやす 落安 みか 美嘉さん

私のような十八歳以下の子どもたちは車を運転できないため、移動に制限があります。共働きの家庭が増加しているため、より思うように行動できない家庭

もあります。私のような十八歳以下の子どもたちは車を運転できないため、移動に制限があります。共働きの家庭が増加しているため、より思うように行動できない家庭

た。昔のように元気ある九戸村にするには、九戸独自のものを考えるのではなく、他の地域の情報を参考にすると良いと思います。このまま九戸村が衰退していくのではなく、昔とは違う明るい方向に進んでくれると、村全体が活気に満ちてくるのではないのでしょうか。

九戸村の良い所は自然が豊かで、地域の人たちとの関わりが深いことだと思います。しかし、九戸村には遊ぶ場所が少ないと思います。そのため九戸村にも通る電車が必要だと考えます。

村に電車を通すことはすごく難しいことだと分かっています。しかし、九戸村に訪れる人数も減少しているのではないのでしょうか。電車を通すことで、他の地域にいるみなさんに九戸村の良い所や、村おこし会社など、いろいろなことをPRできるのではないのでしょうか。

人が九戸村に訪れてくれたら、九戸村にაცოგაれを持つてくれる人が増えるのなら、デメリットだけでなく、メリットも多くあると思います。子どもたちが自分の力で外の世界を知ろうと行動するのなら、それまたメリットにつながると思います。

◆発行責任者

議長 櫻庭 豊太郎

◆議会広報常任委員会

委員長 桂川 俊明
副委員長 保大木 信子
委員 坂本 豊彦
渡本 保男
山下 勝



九戸村を良い方向に

伊保内高校 1年
めぐろ 目黒 もとき 基輝さん

僕は、昔のように元気のある村に戻ってほしいと思います。その理由は、今日閉店する店が増える一方で、道路沿いで仲良く会話を

することをするのではなく、今、人口が増えている地域は何をしているかに着目すれば良いのではないかとということです。例えば甘茶専門店、鶏が有名なので鶏肉専門店など、この村にはなかった新たなことに挑戦していったほしいと思います。人口増加のために、村内にある木を使ったアパートなどを建てることも良いのではないかと思います。

た。昔のように元気ある九戸村にするには、九戸独自のものを考えるのではなく、他の地域の情報を参考にすると良いと思います。このまま九戸村が衰退していくのではなく、昔とは違う明るい方向に進んでくれると、村全体が活気に満ちてくるのではないのでしょうか。

あとがき

今年も新型コロナウイルスで始まり終わろうとしています。コロナ禍で新たに気付かされたことも多くあった気がします。地域のつながり、人とのつながり、支え合いの大事さを改めて感じております。

新たな年に向かい、村民の皆様の声を村政に反映して、村づくりと議会広報づくりに努めていきたいと思っています。

議会広報常任委員長 桂川俊明



村内の保育園合同で年長児運動会が行われました